

研究大会を終えて

岡山県国際理解教育研究会会長
岡山市立吉備中学校長 山本 正

県内各地より大勢の先生方にご参加をいただき、また、ご来賓に福武教育文化振興財団事務局次長 赤松康弘様、本会参与 赤坂英二様、神田進様、斉藤輝三様、全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会からは会長の生野康一様をお迎えして、第16回岡山県国際理解教育研究大会を開催することができましたことを大変うれしく思います。



さて、この研究大会では、「世界の中の日本、学び合う国際理解教育」というテーマのもと、岡山市総合教育センターの藤原陽子先生から、「小学校における外国語活動」と題したご講話をいただきました。また、玉野市立荘内中学校の片山明彦教頭先生、岡山市立芥子山小学校の伊原進一郎先生、新見市立至誠小学校の西村欣也先生、岡山市立石井小学校の今村恵子先生から実践発表をいただきました。

ところで、「小学校の外国語活動」については、昨年の研究大会で、在オランダ特命全権大使のご経歴のある小池寛治先生から、「日本の文化・歴史について語れる発進力が、今、求められています。英語は国際的コミュニケーションの道具です。」とのご発言がありましたので、次の学習指導要領で導入される英語活動について研修の必要を感じ、藤原先生にお願いをいたしました。

私は、自身の海外経験をとおして、「日本人としての誇りや自覚を持って国際社会を生きていく心ゆたかな人間を育てる教育」、そのことがどんなに大切であるかということ強く認識いたしました。私自身もしっかり勉強させていただきたいと思って参加いたしましたが、期待したとおり、多くのヒントやご示唆をいただきました。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたりご後援をいただきました岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会、福武教育文化振興財団、その他、ご支援・ご協力をいただきました多くの関係諸機関や関係の皆様方に対しまして、衷心よりお礼申し上げます。

また、ご来賓やご発表いただいた先生方、ご参会の皆さま方、岡山県国際理解教育研究会の事務局をはじめ本研究大会の準備や運営に携わっていただいた先生方に心より感謝申し上げ、研究大会を終えての挨拶とさせていただきます。